

NEWS RELEASE

各位

2014年11月11日

株式会社 MCA

MCA、「通信建設業者便覧 2014」の販売を開始

～固定・移動体通信建設市場を通信事業者と通信建設業者の両面から把握～

移動体通信・IT 分野専門の調査会社である株式会社 MCA（所在地：東京都千代田区飯田橋 1-8-8、代表者：天野浩徳、TEL：03-6261-2571）が 2014 年 11 月 11 日に、調査レポート「通信建設業者便覧 2014～固定・移動体通信建設市場を通信事業者と通信建設業者の両面から把握～」(価格：税込 108,000 円) を発刊しました。

「通信建設業者便覧 2014」

http://www.mca.co.jp/pay_contents/FormMail/201411_engineering%20Company2014%20Report.html

■調査背景

通信建設業界は携帯電話基地局や、光回線に代表されるブロードバンドのインフラである光ファイバ網の整備、さらには CATV 網の構築や企業通信の社内外ネットワークなど、その市場は多様な広がりを見せている。

通信事業者は通信建設工事に毎年多額の設備投資を行っているが、ARPU の下落や純増契約数の鈍化などから設備投資額自体は抑制的になっている。通信建設業界は通信事業者の設備投資動向に大きく左右される業界構造になっており、通信建設業者は通信事業者から恒常的なコスト削減を要求される状況にある。

こうした厳しい市場環境から、通信建設業界は従来のように通信建設のみを展開する以外に、施工方法の提案や要件定義、交渉、施工構築、調整試験、運用保守などの付加価値提案を要求されるようになってきた。また、IP 化の進展と固定と移動体通信の融合（FMC）化は技術者の多能工（マルチスキル）化が求められるようになってきている。

上記に加え、通信機器（無線機）市場が外資系ベンダに席卷されている背景もあり、外資系ベンダが機器納入とともに通信建設業も請け負うフルターンキーサービスの提供という実態もある。また、映像や電力系から通信建設業界に参入する企業も増えている。これらのさまざまな環境変化から、従来のヒエラルキー的な通信建設業界構造が大きく変化する可能性がみてとれる。

IT Forecast Report

<http://www.mca.co.jp/ifr/top.htm>

通信建設業界は全国規模で事業を展開する数社を除けば、特定地域あるいは地場を中心に事業展開をしている中堅・中小業者が大半を占め、業界構造やプレーヤの実態は明らかにされていない。本調査資料は激変する通信業界の現状に関し、通信事業者の動向を把握しつつ、通信建設市場の実態を明らかにするとともに、全国の通信建設業者の事業概要を示すものである。

■調査ポイント

- ✓通信事業者の設備投資動向
- ✓2018年度までの通信建設市場を予測
- ✓2018年度までの分野別通信建設市場予測
 - モバイル系、固定系（アクセス、ネットワーク）通信建設分野
- ✓ネットワーク技術革新と通信建設市場への影響（SDN/NFV など）
- ✓通信建設業界の将来構造
- ✓全国通信建設業者 153 社の会社概要

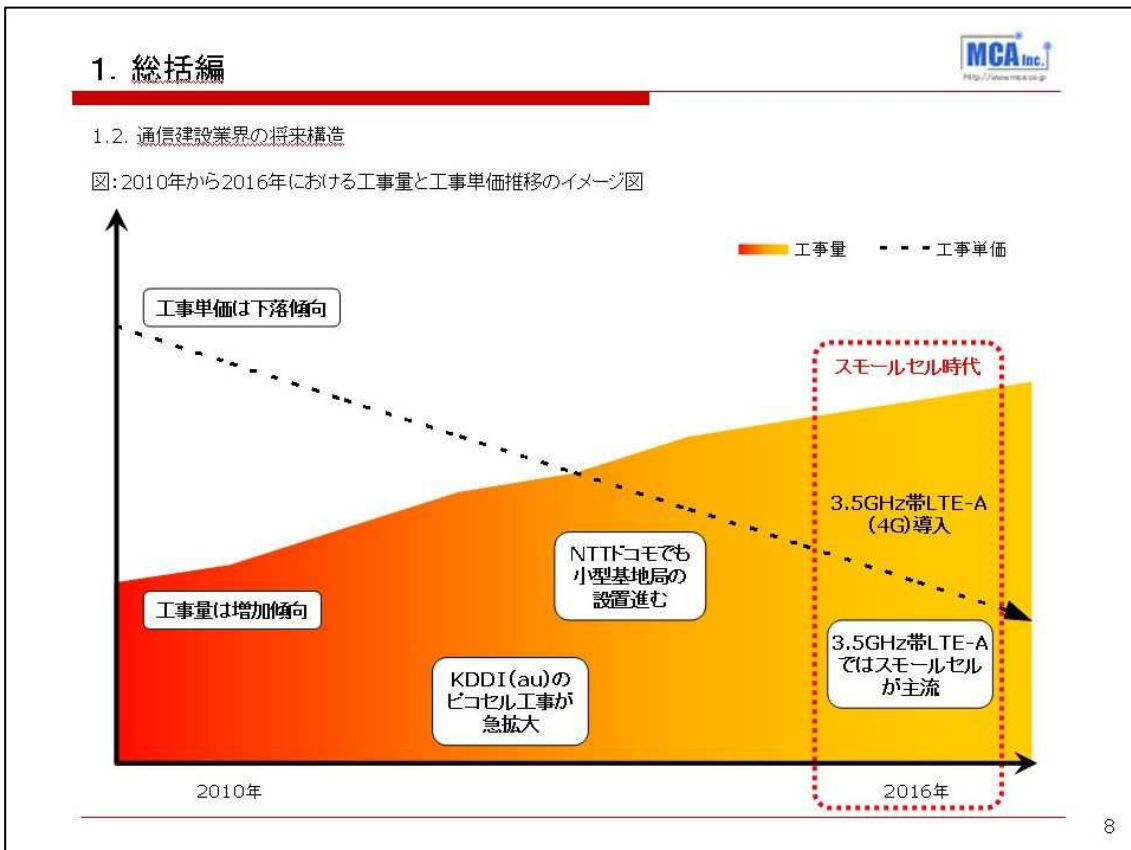
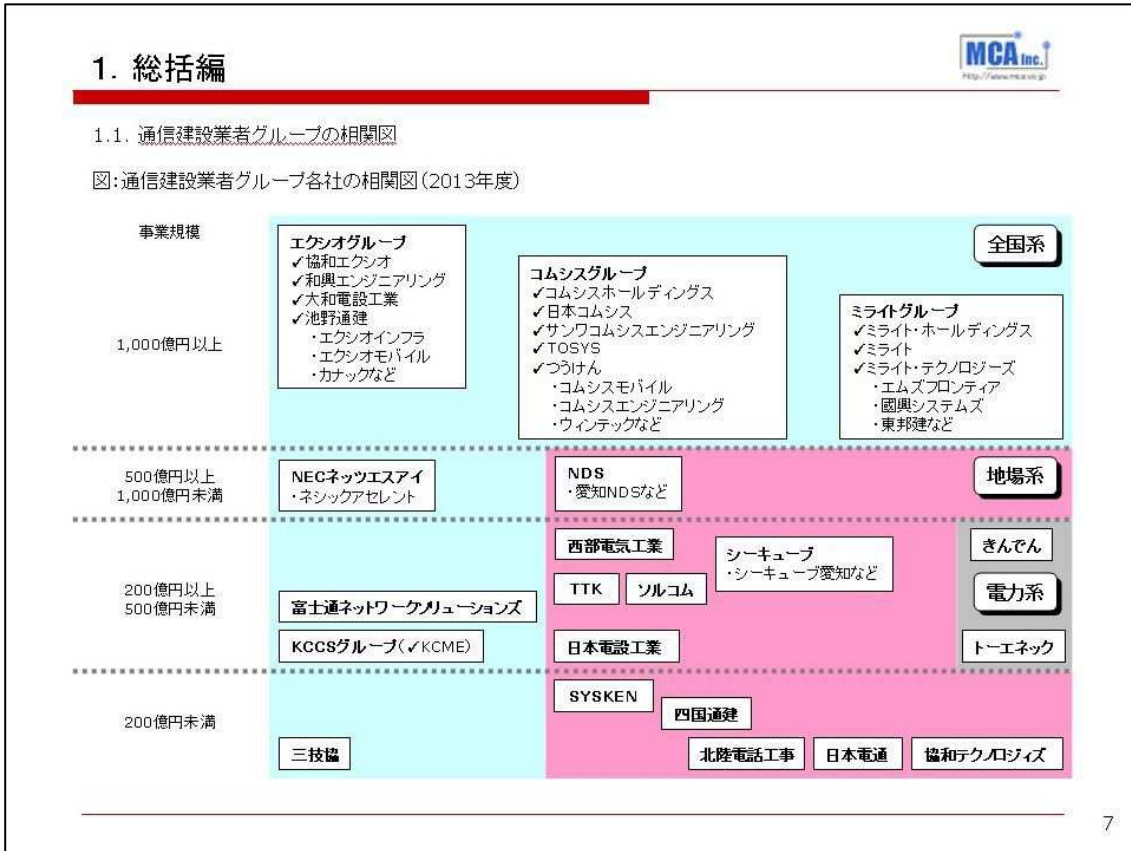
■調査対象

分類	調査対象企業
I. 通信事業者	NTT グループ（NTT ドコモ、NTT 東日本、NTT 西日本、NTT コミュニケーションズ）、KDDI グループ（KDDI、UQ コミュニケーションズ）、ソフトバンクグループ（ソフトバンクモバイル、ワイモバイル、Wireless City Planning、ソフトバンクテレコム、ソフトバンク BB）、地域系通信事業者（ケイ・オプティコム、九州通信ネットワークなど）
II. 通信建設業者	コムシスグループ（コムシスホールディングス、日本コムシス、サンワコムシスエンジニアリング、TOSYS、つうけん）、エクシオグループ（協和エクシオ、和興エンジニアリング、大和電設工業、池野通建）、ミライトグループ（ミライト・ホールディングス、ミライト、ミライト・テクノロジーズ）、NEC ネットズエスアイ、KCCS グループ（京セラコミュニケーションシステム、KCCS モバイルエンジニアリング）、NDS、西部電気工業、シーキューブ、ソルコム、TTK など
III. 通信建設工事	モバイル系、固定系（アクセス、ネットワーク）通信建設分野

■調査区分

区分	該当分野
モバイル系	RAN（基地局、鉄塔局など通信土木含む）
固定系	アクセス（FTTH/固定回線、管路など通信土木含む）
	コアネットワーク/モバイルコアネットワーク（センタ設備）

■ 調査結果抄録



1. 総括編



1.5. 主要通信建設業者別工事種類別売上高

通信建設工事は固定系(アクセス)が中心的な存在

2013年度における通建業者主要30社の通信建設工事売上高は1兆1,707億円となった。そのうち固定系(アクセス)は5,355億円と最も高く、通信建設工事の中心的な存在となっている。次いで、モバイル系も4,877億円と両者で1兆232億円と全体の87.4%を占めた。

主要3グループで約60%の通信建設工事を獲得

コムシスホールディングスや協和エクシオ、ミライト・ホールディングスの主要3グループでは6,856億円と全体の58.6%を占めている。主要3グループの工事種類別売上高では、固定系(アクセス)が3,355億円、モバイル系は2,668億円、固定系(ネットワーク)が833億円となった。

図：2013年度における通建業者大手3グループの工事種類別売上高比較



15

■通信建設市場規模とは

通建業者における通信建設工事売上高を合算した数値を指す。算出方法は1次請通建業者30社(コムシスやミライトHD含む)を対象に、当該業者30社の連結売上高のうち通信建設工事売上高を推定、合算した。1次請通建業者30社の連結売上高には傘下子会社の売上高も含まれ、当該レポートにおける通建業者数は傘下子会社を合わせて100社以上となる。

1. 総括編

- 1.1. 通信建設業者グループの相関図
- 1.2. 通信建設業界の将来構造
- 1.3. ネットワーク技術革新と通信建設市場への影響 (SDN/NFV など)
- 1.4. 通信建設業者の方向性
- 1.5. 主要通信建設業者別工事種類別売上高
- 1.6. 電気通信主任技術者数

2. 市場分析編

- 2.1. 通信事業者の通信建設設備投資動向
 - ◆通信事業者別通信建設設備投資動向
 - 2.1.1. 通信事業者を取り巻く市場環境

- 2.1.2. NTT グループの通信建設設備投資動向
- 2.1.3. KDDI グループの通信建設設備投資動向
- 2.1.4. ソフトバンクグループの通信建設設備投資動向
- 2.1.5. 地域系通信事業者の通信建設設備投資動向

◆工事種類別通信建設設備投資動向

- 2.1.6. モバイル系通信建設投資
- 2.1.7. 固定系（アクセス）通信建設投資
- 2.1.8. 固定系（ネットワーク）通信建設投資

2.2. 通信建設を取り巻く市場環境

- 2.2.1. モバイル系通信建設
- 2.2.2. 固定系（アクセス）通信建設
- 2.2.3. 固定系（ネットワーク）通信建設

2.3. 通信建設市場規模

- 2.3.1. モバイル系通信建設
- 2.3.2. 固定系（アクセス）通信建設
- 2.3.3. 固定系（ネットワーク）通信建設

3. 通信建設業者集計編

- 3.1. 連結通信建設工事売上高
- 3.2. モバイル系通信建設工事売上高
- 3.3. 固定系通信建設工事売上高
- 3.4. 固定系（アクセス）通信建設工事売上高
- 3.5. 固定系（ネットワーク）通信建設工事売上高

4. 通信建設業者編

企業概要（所在地・従業員規模・売上高など）、取引関係通信事業者、所属通信建設グループ、対象通信工事セグメント、主な保有資格、資格別技術者数、通信建設における自社の特長、今後の注力分野

5. 通信建設業者の会社概要一覧

※通信建設業者の会社概要一覧は Excel ファイルでも別途提供。

■調査レポート詳細

発行日：2014年11月

判型：PDFファイル（A4版91頁）

発行・販売：株式会社MCA

頒価：108,000円（税込）

調査期間：2014年8月～2014年11月

販売方法：印刷レポート & PDFファイル

※通信建設業者の会社概要一覧はExcelファイルでも別途提供。

■株式会社MCA（MCA Inc.）の会社概要

設立時期：1993年12月1日

代表者：代表取締役 天野浩徳

資本金：1,000万円

所在地：〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-8-8 ASKビル 5F

事業内容：通信分野に関するコンサルティングやマーケティング事業

・カスタムプロジェクト（委託調査）業務

・IT Forecast Report（モバイル／IT調査レポート）の企画／制作／販売業務

■本件リリースに関するお問い合わせ

株式会社MCA（MCA Inc. <http://www.mca.co.jp/>）

担当：大門

E-Mail：info@mca.co.jp

TEL：03-6261-2571

FAX：03-6261-2572